

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
GD カンパニー	1人	岡山県備前市	小規模農業による里山生活実現モデルの確立	専門家派遣回数 4回

相談内容・現状課題

■相談内容

相談者は、平成16年に就農し、コマツナと水稻の複合経営の実務的な農業を学び、平成31年に水稻を中心としたGDカンパニーとして独立創業した。小面積でも高収益を上げるための生産・販売方法や販売ルートの開拓等について模索しており、今後の経営戦略について相談があった。

■現状課題等

平成21年からアヒルの雛を田んぼに放して農業や化学肥料を使わずに栽培する「アヒル農法」に取り組み、翌年から大手通販を通じたネット販売を開始した。また、平成31年からはイタリア米品種「和みりゾット」(以下、イタリア米)の生産を始めた。この品種は粒が大きく、粘りがなく、煮崩れしにくい特徴を持ち、リゾットなど料理への汎用性がある。

これらの米の特徴をPRしながら、販売促進につなげる戦略が必要である。



相談所の支援体勢・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

■支援内容

販路拡大・販売促進を得意とする中小企業診断士の経営診断のもと「小規模農業による里山生活実現モデルの確立」を経営改善目標として支援した。

- ①反収等の生産性、販売単価等の収益性、競合品に対する優位性、市場ニーズ等の販売容易性などを評価基準に、品種選定やマーケティング活動をするようアドバイス
- ②小規模で農業収益を上げていくためには、顧客層と商品・サービスの強み設定に加え、的確な販売促進活動が必要なことをアドバイスし、補助事業の活用を提案した。
- ③アヒル農法の米に加え、競合が少ないイタリア米を中心とした営農による収益試算の支援とともに、イタリア米の特徴を生かした料理(チャーハン、雑炊、パエリア、リゾット等)の食材となる野菜生産を提案した。



活躍するアヒル



イタリア米



タイ茄子

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

○中小企業庁の補助事業を活用してホームページを立ち上げ、アヒル農法による米栽培やイタリア米、変わり野菜を紹介するとともに、相談者の農業への思いを発信している。

○イベント等に出店して、アヒル農法米やイタリア米を知っていただいた顧客のリピート購入を取り込むため、HPに自社ネットショップを設置した。

○アヒルのオーナーを募り田植えや収穫体験を実施している。また、収穫した米を使った料理教室も開催している。



■コーディネーター所感

中小企業診断士による経営診断により、相談者が当初考えていた「アヒルの飼料生産・販売」に新たに取り組むことは時期尚早で今は控え、現在の経営資源で着実に取り組める所得向上策を検討すべきとのアドバイスによりリスクが軽減できた。

また、商工関係の補助事業に明るい商工会連合会出身専門家の適切なアドバイスと支援により、負担の軽減が図れた。